

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	鳥取市医療看護専門学校
設置者名	学校法人 大阪滋慶学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

ホームページ「役員・評議員名簿」
<http://osaka.jikeigroup.net/zaimu>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	社会福祉法人恩賜財団 大阪府済生会富田林医療 福祉センター長 (2026. 4. 1～)	2020. 8. 25～ 2029 年度の定時 評議員会の終結の 時まで	業界の情報収集
非常勤	医療法人俊慈会 理事 (2011. 4. 1～)	2025. 5. 30～ 2029 年度の定時 評議員会の終結の 時まで	業界の情報収集
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	鳥取市医療看護専門学校
設置者名	学校法人 大阪滋慶学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。 (授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 《授業計画(シラバス)の作成過程》 ・前年度12月頃よりシラバス作成依頼を行い、2月末頃に提出依頼をする。 ・「授業科目における学習内容」「成績評価の方法と基準」「使用教材(教科書)及び参考図書」「授業外における学習方法」「履修に当たっての留意点」「授業の方法」「授業を通じての到達目標」「各コマにおける授業予定」「実務経験とその関連資格」をシラバスに記載する。 ・「成績評価の方法と基準」について、試験やレポートの内容、学習への意欲などを、どのように学修成果として評価しているのかをあらかじめ設定し、明らかにする。 ・「実務経験とその関連資格」について、どのような実務経験のある教員かを記載する。 《授業計画の作成・公表時期》 ・オリエンテーション時に学生に配布またはホームページに掲載する。	
授業計画書の公表方法	ホームページ (https://www.tcmn.ac.jp/jyuhou/) または学生配布
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。 (授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) ・各授業科目の成績評価は、看護学科、理学療法士学科、作業療法士学科、医療福祉総合学科で定める試験、実習の成果、履修状況等を総合的に勘案して行う。 ・成績評価の方法と基準について、試験やレポートの内容、学習への意欲などを、どのように学修成果として評価しているのかをあらかじめ設定し、明らかにする。また、複数の教員または講師が担当する科目については、1つの試験で成績を評価する。その配点比率は担当する授業時間の割合による。	

3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。 (客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) ・G P A制度などの成績評価に係る指標の算定方法を定め、成績状況の把握、評価を行っている。 《算定方法》 ・履修規定第3章第8条2の評語を持って表した評価を5段階評価(A、B、C、D、F)に置き換え、その評価を4から0までの点数(G P : Grade Point)に置き換える。 ・置き換えた点数(G P)に履修した科目の各単位数を掛け合わせ、その掛けた数の総和(G P T : Grade Point Total)を履修科目の各単位数の合計で割る。	
客観的な指標の算出方法の公表方法	ホームページ (https://www.tcmn.ac.jp/jyouhou/)
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。 (卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) ・本課程に修業年限以上在学し、学則第23条に定める授業科目の単位修得認定を受け、卒業要件である所定の単位を全て修得した者について、卒業・課程修了判定会議の議を経て卒業を認定する。	
卒業の認定に関する方針の公表方法	ホームページ (https://www.tcmn.ac.jp/jyouhou/)

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	鳥取市医療看護専門学校
設置者名	学校法人 大阪滋慶学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	http://osaka.jikeigroup.net/pc/zaimu/2026/04taisyaaku.html
収支計算書又は損益計算書	http://osaka.jikeigroup.net/pc/zaimu/2026/01shikin.html
財産目録	http://osaka.jikeigroup.net/pc/zaimu/2026/05zaisan.html
事業報告書	http://osaka.jikeigroup.net/pc/zaimu/2026/jigyohoukoku.pdf
監事による監査報告（書）	http://osaka.jikeigroup.net/pc/zaimu/2026/06kansa.html

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名		専門士		高度専門士	
医療		医療専門課程	看護学科		○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類					
			講義	演習	実習	実験	実技	
3 年	昼	3065 単位時間／106 単位	2045 単位 時間/83 単位	0 単位時 間/0 単位	1020 単位 時間/23 単位	0 単位時 間/0 単位	0 単位時 間/0 単位	
			単位時間／単位					
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
240 人		118 人	0 人	12 人	57 人	69 人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 《授業計画（シラバス）の作成過程》 ・前年度 12 月頃よりシラバス作成依頼を行い、2 月末頃に提出依頼をする。 ・「授業科目における学習内容」「成績評価の方法と基準」「使用教材（教科書）及び参考図書」「授業外における学習方法」「履修に当たっての留意点」「授業の方法」「授業を通じての到達目標」「各コマにおける授業予定」「実務経験とその関連資格」をシラバスに記載する。 ・「成績評価の方法と基準」について、試験やレポートの内容、学習への意欲などを、どのように学修成果として評価しているのかをあらかじめ設定し、明らかにする。 ・「実務経験とその関連資格」について、どのような実務経験のある教員かを記載する。 《授業計画の作成・公表時期》 ・オリエンテーション時に学生に配布またはホームページに掲載する。

成績評価の基準・方法
(概要) ・各授業科目の成績評価は、各学科で定める試験、実習の成果、履修状況等を総合的に勘案して行う。 ・成績評価の方法と基準について、試験やレポートの内容、学習への意欲などを、どのように学修成果として評価しているのかをあらかじめ設定し、明らかにする。また、複数の教員または講師が担当する科目については、1つの試験で成績を評価する。その配点比率は担当する授業時間の割合による。
卒業・進級の認定基準
(概要) ・本課程に修業年限以上在学し、学則第23条に定める授業科目の単位修得認定を受け、卒業要件である所定の単位を全て修得した者について、卒業・課程修了判定会議の議を経て卒業を認定する。
学修支援等
(概要) 入学前教育、学習サポート、個別面接による学習支援（年に2回以上）、保護者会等

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
62 人 (100%)	0 人 (0%)	52 人 (83.9%)	10 人 (16.1%)
(主な就職、業界等) 病院、介護老人保健施設			
(就職指導内容) 教員及びキャリアセンターにおいて、就職ガイダンス・対策セミナー・個別指導を実施			
(主な学修成果（資格・検定等）) 看護師国家試験受験資格、ニュース検定、認知症サポーター			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
140 人	3 人	2.1%
(中途退学の主な理由) 進路変更、学習意欲、健康問題 等		
(中退防止・中退者支援のための取組) 学習支援、クラス環境整備、個別面談、保護者との情報共有・連携等		

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名		専門士		高度専門士	
医療		医療専門課程	理学療法士学科		○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類					
			講義	演習	実習	実験	実技	
3 年	昼	3125 単位時間 ／141 単位	1725 単 位時間 /101 単位	600 単位 時間/20 単位	800 単位 時間/20 単位	0 単位時 間/0 単位	0 単位時 間/0 単位	
			単位時間／単位					
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数		総教員数	
120 人		90 人	0 人	6 人	29 人		35 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 《授業計画（シラバス）の作成過程》 ・前年度 12 月頃よりシラバス作成依頼を行い、2 月末頃に提出依頼をする。 ・「授業科目における学習内容」「成績評価の方法と基準」「使用教材（教科書）及び参考図書」「授業外における学習方法」「履修に当たっての留意点」「授業の方法」「授業を通じての到達目標」「各コマにおける授業予定」「実務経験とその関連資格」をシラバスに記載する。 ・「成績評価の方法と基準」について、試験やレポートの内容、学習への意欲などを、どのように学修成果として評価しているのかをあらかじめ設定し、明らかにする。 ・「実務経験とその関連資格」について、どのような実務経験のある教員かを記載する。 《授業計画の作成・公表時期》 ・オリエンテーション時に学生に配布またはホームページに掲載する。
成績評価の基準・方法
（概要） ・各授業科目の成績評価は、各学科で定める試験、実習の成果、履修状況等を総合的に勘案して行う。 ・成績評価の方法と基準について、試験やレポートの内容、学習への意欲などを、どのように学修成果として評価しているのかをあらかじめ設定し、明らかにする。また、複数の教員または講師が担当する科目については、1 つの試験で成績を評価する。その配点比率は担当する授業時間の割合による。
卒業・進級の認定基準
（概要） ・本課程に修業年限以上在学し、学則第 2 3 条に定める授業科目の単位修得認定を受け、卒業要件である所定の単位を全て修得した者について、卒業・課程修了判定会議の議を経て卒業を認定する。
学修支援等
（概要） 入学前教育、学習サポート、個別面接による学習支援、保護者会等

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
39 人 （ 100%）	8 人 （ 20.5%）	26 人 （ 66.7%）	5 人 （ 12.8%）
（主な就職、業界等） 病院、老人保健施設			
（就職指導内容） 教員及びキャリアセンターにおいて、就職ガイダンス・対策セミナー・個別指導を実施			
（主な学修成果（資格・検定等）） 理学療法士国家試験受験資格、文章読解力検定、ニュース検定、認知症サポーター			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
103 人	2 人	1.9%
（中途退学の主な理由） 学習意欲、進路変更		
（中退防止・中退者支援のための取組） 学習支援、クラス環境整備、個人面談等、保護者面談		

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名		専門士		高度専門士	
医療		医療専門課程	作業療法士学科		○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類					
			講義	演習	実習	実験	実技	
3 年	昼	3235 単位時間 ／145 単位	1965 単 位時間 /110 単位	990 単位 時間/43 単位	1000 単 位時間 /25 単位	0 単位時 間/0 単位	0 単位時 間/0 単位	
			単位時間／単位					
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
120 人		66 人	1 人	4 人	16 人	20 人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
（概要） 《授業計画（シラバス）の作成過程》 ・前年度 12 月頃よりシラバス作成依頼を行い、2 月末頃に提出依頼をする。 ・「授業科目における学習内容」「成績評価の方法と基準」「使用教材（教科書）及び参考図書」「授業外における学習方法」「履修に当たっての留意点」「授業の方法」「授業を通じての到達目標」「各コマにおける授業予定」「実務経験とその関連資格」をシラバスに記載する。 ・「成績評価の方法と基準」について、試験やレポートの内容、学習への意欲などを、どのように学修成果として評価しているのかをあらかじめ設定し、明らかにする。 ・「実務経験とその関連資格」について、どのような実務経験のある教員かを記載する。 《授業計画の作成・公表時期》 ・オリエンテーション時に学生に配布またはホームページに掲載する。	
成績評価の基準・方法	
（概要） ・各授業科目の成績評価は、各学科で定める試験、実習の成果、履修状況等を総合的に勘案して行う。 ・成績評価の方法と基準について、試験やレポートの内容、学習への意欲などを、どのように学修成果として評価しているのかをあらかじめ設定し、明らかにする。また、複数の教員または講師が担当する科目については、1 つの試験で成績を評価する。その配点比率は担当する授業時間の割合による。	
卒業・進級の認定基準	
（概要） ・本課程に修業年限以上在学し、学則第 2 3 条に定める授業科目の単位修得認定を受け、卒業要件である所定の単位を全て修得した者について、卒業・課程修了判定会議の議を経て卒業を認定する。	
学修支援等	
（概要） 入学前教育、学習サポート、個別面接による学習支援、保護者会等	

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
15 人 （ 100%）	2 人 （ 13.3%）	13 人 （ 86.7%）	0 人 （ 0%）
（主な就職、業界等） 病院、老人保健施設			
（就職指導内容） 教員及びキャリアセンターにおいて、就職ガイダンス・対策セミナー・個別指導を実施			
（主な学修成果（資格・検定等）） 作業療法士国家試験受験資格、文章読解・作成能力検定、ニュース時事能力検定、認知症サポーター、初級パラスポーツ指導員、福祉住環境コーディネーター2級検定試験			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
64 人	6 人	9.4%
（中途退学の主な理由） 進路変更、健康問題 等		
（中退防止・中退者支援のための取組） 学習支援、クラス環境整備、個別面談、保護者面談、スクールカウンセラー設置等		

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名		学科名		専門士		高度専門士	
医療		医療専門課程		医療福祉総合学科		○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数		開設している授業の種類					
	講義			演習	実習	実験	実技		
2 年	昼	【新カリ】 医療事務専攻 1730 単位時間/86 単位 健康運動実践専攻 1745 単位時間/85 単位 【旧カリ】 医療事務専攻 1930 単位時間/98 単位 健康運動実践専攻 1840 単位時間/93 単位		【新事務】 795 単位時間/52 単位 【新健康】 705 単位時間/47 単位 【旧事務】 225 単位時間/15 単位 【旧健康】 195 単位時間/13 単位	【新事務】 60 単位時間/2 単位 【新健康】 180 単位時間/6 単位 【旧事務】 510 単位時間/17 単位 【旧健康】 540 単位時間/17 単位	【新カリ】 200 単位時間/5 単位 【旧カリ】 160 単位時間/4 単位	0 単位時間/0 単位	0 単位時間/0 単位	
	単位時間／単位								
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数		専任教員数		兼任教員数		総教員数
80 人		17 人	0 人		2 人		23 人		25 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 《授業計画（シラバス）の作成過程》 ・前年度 12 月頃よりシラバス作成依頼を行い、2 月末頃に提出依頼をする。 ・「授業科目における学習内容」「成績評価の方法と基準」「使用教材（教科書）及び参考図書」「授業外における学習方法」「履修に当たっての留意点」「授業の方法」「授業を通じての到達目標」「各コマにおける授業予定」「実務経験とその関連資格」をシラバスに記載する。 ・「成績評価の方法と基準」について、試験やレポートの内容、学習への意欲などを、どのように学修成果として評価しているのかをあらかじめ設定し、明らかにする。 ・「実務経験とその関連資格」について、どのような実務経験のある教員かを記載する。 《授業計画の作成・公表時期》 ・オリエンテーション時に学生に配布またはホームページに掲載する。
成績評価の基準・方法
（概要） ・各授業科目の成績評価は、各学科で定める試験、実習の成果、履修状況等を総合的に勘案して行う。 ・成績評価の方法と基準について、試験やレポートの内容、学習への意欲などを、どのように学修成果として評価しているのかをあらかじめ設定し、明らかにする。また、複数の教員または講師が担当する科目については、1 つの試験で成績を評価する。その配点比率は担当する授業時間の割合による。
卒業・進級の認定基準
（概要） ・本課程に修業年限以上在学し、学則第 2 3 条に定める授業科目の単位修得認定を受け、卒業要件である所定の単位を全て修得した者について、卒業・課程修了判定会議

の議を経て卒業を認定する。
学修支援等
(概要) 入学前教育、学習サポート、個別面接による学習支援、保護者会等

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
9 人 (100%)	0 人 (0%)	9 人 (100%)	0 人 (0%)
(主な就職、業界等) 医療福祉機関			
(就職指導内容) 教員及びキャリアセンターにおいて、就職ガイダンス・対策セミナー・個別指導を実施			
(主な学修成果（資格・検定等）) メディカルフロントコンシェルジュ、メディカルクラーク、医療事務能力検定、医師事務作業補助者			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
19 人	2 人	10.5%
(中途退学の主な理由) 進路変更 精神疾患の増悪		
(中退防止・中退者支援のための取組) 学習支援、クラス環境整備、個別面談等		

②学校単位の情報

a)「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考（任意記載事項）
看護学科	100,000 円	800,000 円 (2.3 年は 700,000)	285,000 円	※令和 8 年度より、授業料金額変更
理学療法士学科	100,000 円	900,000 円 (2.3 年は 800,000)	385,000 円	※令和 8 年度より、授業料金額変更
作業療法士学科	100,000 円	900,000 円 (2.3 年は 800,000)	385,000 円	※令和 8 年度より、授業料金額変更
医療福祉総合学科	100,000 円	700,000 円	135,000 円	
修学支援（任意記載事項）				

b) 学校評価

自己点検評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)		
https://www.tcmn.ac.jp/jyouhou/		
第三者評価の基本方針（実施方法・体制）		
卒業生、保護者、地域公共団体、高等学校関係者、業界関係者などにより構成された委員会が、本校の教育活動の観察や意見交換等を通じて、自己評価の結果について評価することを基本として行う。学校関係者評価委員よりいただいた 10 項目の評価を学内の委員会や会議等々で情報共有の上、今後の学校運営で具現活用していく。		
第三者評価の委員		
所属	任期	種別
公益社団法人 鳥取県看護協会	2025 年 4 月 1 日～2027 年 3 月 31 日	企業等委員
医療法人 さとに田園クリニック	2025 年 4 月 1 日～2027 年 3 月 31 日	企業等委員
医療法人東浩会 石川病院	2025 年 4 月 1 日～2027 年 3 月 31 日	企業等委員
鳥取市健康こども部	2025 年 4 月 1 日～2027 年 3 月 31 日	地域公共団体
鳥取県立八頭高等学校	2026 年 6 月 10 日～2027 年 3 月 31 日	高等学校関係
株式会社エルスリー	2025 年 4 月 1 日～2027 年 3 月 31 日	卒業生
保護者代表	2025 年 4 月 1 日～2027 年 3 月 31 日	保護者
第三者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)		
https://www.tcmn.ac.jp/jyouhou/		
(備考)		
第三者評価未実施		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)

<https://www.tcmn.ac.jp/>